

令和6年11月7日（木） 地震・津波対応避難訓練 校長の話

みなさん、避難訓練、お疲れ様でした。

今日は大きく2つの避難訓練をしました。

1つめは地震です。6月の火事からの避難訓練では、「運動場に避難しましょう」という放送があって、4分29秒で全員が避難できました。今日は、地震でしたが、教室から運動場まで、4分23秒でした。6秒早く集まりました。安全第1で、階段や廊下でけがなかったようです。そのため「お・は・し・も（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）」ができていればOKです。ただ、今日はつつい急いで校舎の中なのに走っていた人もいました。そこは気を付けましょう。

さて、地震が起こったら、まずは「しゃがむ、かくれる、まつ（ゆれがおさまるまで、じっとする）」が黙ってできましたか。自分で振り返ってみてください。次のゆれの可能性もあるため、運動場のように、広い場所に避難することもあります。広い場所というのは、「物が落ちてこない、物が倒れてこない、物が動いてこない」場所です。例えば、照明器具が落ちてこない、本棚が倒れてこない、いすなどがすべって動いてこない、そのような場所にいなければなりません。今日のように、運動場の真ん中は大丈夫でしょう。

ただし、地震はいつ、どこで起こるか分かりません。学校でも、休憩時間かもしれません。図書室にいるときかもしれません。登校中、下校中、家に帰って遊びに行ったときかもしれません。ブロック塀から離れないといけません。夜中かもしれません。「落ちてこない、倒れてこない、動いてこない」場所に避難します。

2つめの避難は津波からの避難でした。地震が起これば、津波の心配もします。「2階に逃げます。」というマイクの声が聞こえにくかったかもしれませんが、みんな静かに聴いていたので、聴きとれていました。大事な指示が出ますから、静かにしておくことの大切さを学ぶことができました。今日は、校舎の2階に逃げました。逃げるときは、これも「お・は・し・も」です。運動場から2階まで全員が避難し終わるまで7分10秒でした。運動場に避難したときの4分23秒と7分10秒を足すと11分33秒です。この時間は、巨大地震が起こって津波が大竹小学校に到達するまでに、十分間に合います。

今日は、震度5強という巨大地震が起こったとしたことにしました。津波は大竹小学校のあたりまで、3時間28分後に到達するそうです。50センチメートルから1メートルくらいは海水につかってしまうそうです。津波からの避難の仕方は、津波に飲み込まれないために「今よりも高い場所へ、できるだけ早く逃げること」です。

今日は、2つの避難の仕方について訓練をしました。もう1度言います。

地震は「落ちてこない、倒れてこない、動いてこない」場所に避難します。津波は「今より高い」場所に避難します。お家に帰っても、地震と津波からの避難の仕方について、お家の人と話し合ってください。